

道るべ

2014年
新年号 vol.69



理念 信頼され愛される病院

医療法人 愛生会



トップメッセージ
新年の挨拶



センターのご紹介

甲状腺・内分泌センター
人工関節・関節鏡センター

第7回 市民公開講座レポート

病診連携コーナー

大須診療所
みずのリハビリクリニック

新年のごあいさつ

平成26年の年頭に当たって

医療法人 愛生会

理事長 加藤知行



皆さまには希望に満ちた新年をお迎えになられた事と拝察申し上げます。さて、これから我が国の医療はどのようなか。

厚生労働省の発表によりますと平成24年度の国民医療費は38・6兆円で、医療費は毎年1兆円を超えて増加しています。これは医療の高度化だけでなく人口の少子高齢化とくに高齢化による疾病構造の変化が根底にあります。そこで団塊の世代が全て75歳以上の高

となる「地域完結型」の治し支える医療・介護へ、地域包括ケアシステムすなわち地域ぐるみの支え合う体制へ転換しようとしています。

また、「病院の病床機能の見直し」と、それに伴う「都道府県それぞれの医療提供体制の整備、地域医療ビジョンの策定」を地方自治体に言ってくるでしょう。これを受けて、県下の病院の機能を整理して、地域ごとの実情に応じた医療計画を立案・構築することになります。愛生会はこの地域の医療の中心となる法人にならなくてはならないと心しています。

医療法人愛生会は昭和26年の発足当初から、地域の皆さまの健康を守ることと様々な病態の患者さまが安心してかかることができることを目標に置き、「信頼され愛される病院」を基本理念に掲げて、医療機能を整備し活動してきました。愛生会には現在、総合上飯田第一病院に急性期と亜急性期医療、上飯田リハビリテーション病院に回復期および通所リハビリテーションを、上飯田クリニックに血液透析を、そして介護福祉事業部に慢性期の各医療機能を備えております。また、医療を支える人材の育成では、総合上飯田第一病院が臨床研修指定病院として医師の育成に当たり、愛生会看護専門学校が看護師の養成を行っています。私たちは常に安全で最良の医療を提供できるように施設や医療機器を整備し、日々病院機能を高めることに務めており

齢者となる、2025年を

念頭に置いて検討された制度改革が平成25年8月に社会保障制度改革国民会議で提言され、医療費の赤字体質を改善するために、我が国の医療を「臓器」疾病治療が中心だった「病院完結型」の治す医療から、高齢者の多疾病共存型が中心

ます。平成24年は総合上飯田第一病院の南館（入院棟）を増築して手術部門、救急部門などを移転し、腎センターを開設しました。また、年々増加している患者さまを遅滞なく診断するために新たに最新鋭の128列のCTと3TのMRI機器を設置、平成25年はあいせいデイサービスセンターを新築移転し、ハード部分を充実させました。北館（外来棟）には、それまでの健診センターに加えて、平成25年に内視鏡センター、乳腺センター、脳卒中センター、甲状腺・内分泌センター、人工関節・関節鏡センターを開設してソフト部分・診療体制の整備を行いました。おかげさまでこれらは皆さまからご好評をいただいております。

本年は、これまで以上に地域医療に貢献するために、さらに診療機能を充実させること、より公益性を高めること、愛生会の事業所間だけでなく地域の医療機関・施設とも有機的に連携することを活動の目標にしたいと考えております。平成23年3月11日の天災とそれに伴う原発事故の爪痕はあまりにも大きく、平成25年は、その後遺症から抜け出る事ができずあまり良い年とは言えませんが、本年はより良い年でありまうに祈念いたします。

あけましておめでとうございます。本年も医療法人愛生会をよろしくお願い申し上げます。

地域文化としての医療

総合上飯田第一病院院長 木田義久

皆さまにとって健康を維持され、すばらしい1年が展開されますよう、病院職員一同、お祈りしています。

現在環太平洋パートナーシップ（TPP）の交渉が進行中でありその行方が注目されています。医療における交渉も大きな部分を占めていることと考えられ、とりわけ日本の皆保険制度が維持できるかどうか注目が集まっています。アメリカにおいては、日本に比べ国民1人あたり約2倍の医療費が投入されているにも関わらず、なお4千万人が無保険のままに生活しているとのことであり、医療破産が頻発していると言います。現在それを解消しようとオバマ大統領が新たな保険制度導入に動いていますが、自己責任を強調する共和党の反対は根強く、解決できるかどうか不明の状態です。もとより医療は国民、あるいは地域住民にとって基本的課題であり、日本の皆保険は譲ることのできない項目です。いつそ日本のシステムを米国に輸出してさしあげてはとさえ考えます。しっかりと医療体制は国家、地域のいわば文化として重視されなければなりません。

総合上飯田第一病院も名古屋北部の中核病院として、充実した医療、断らない救急を通じて、健康のための最前線にあって住民の皆さまのお力になればと考えております。名古屋北部地域の文化としての医療にご支援をお願いいたします。



「おもてなし」の気持ちを大切に

上飯田リハビリテーション病院院長 岸本秀雄

平成25年10月1日より、再度、上飯田リハビリテーション病院院長に着任いたしました。

当院は、平成13年の回復期リハビリテーション病棟立ち上げ以来、リハビリテーションに特化した診療に取り組んでまいりました。障害をもたれた患者さまに対し、ハイレベルのチーム医療を提供し、よりスピーディーな日常生活動作の改善と生活の質の向上に努め、在宅復帰・社会復帰をめざします。また、当会介護福祉事業部や近隣のクリニックと連携をとりながら、生活期リハビリの充実にも取り組んでまいります。1年4ヶ月間、院長職を離れ、入院診療に専念してまいりました。試行錯誤の毎日でしたが、少し距離をおいた立場から、当院のあるべき院長像そして病院像を自分なりに考え、患者・利用者さま目線での対応の大切さを再認識した次第です。

「おもてなし」の気持ちを大切に、努力してまいりますので、よろしくご支援の程をお願いいたします。



1年156回のお付き合い

上飯田クリニック院長 加藤優

毎年、新年の挨拶から始まり、26回目のお正月を迎えました。上飯田クリニックが平日休診になる日は年に1回だけなのをご存じでしょうか？ 勘の良い方はもうおわかりのことでしょう。そうです、元旦です。透析をされている方は数日の連続した休みを取ることが非常に困難です。従ってこの元旦だけは家族・親戚の方々と、自宅でゆっくり新年の始まりを過ごしていただくようにと休みにしています。

そして、また新たな年が始まり患者さまの生活の一部となつてゆく透析を私たちスタッフ一同は「より安全で、より快適な透析生活」を目指して共に協力し皆さまにとってさらに良い一年となつてほしいと思ひながら新しい年をスタートしたいと考えています。1年156回のお付き合いです。本年もどうぞよろしく願ひいたします。



甲状腺・内分泌センター 開設

平成14年5月以来11年5ヶ月にわたって、院長として総合上飯田第一病院に奉職し、皆さまに多大なるご支援をいただいていたことに心から感謝申し上げます。ただ私個人といたしましては、臨床医として個別の患者さまに関わり続けることと、総合病院の管理者としての立場との両立にもどかしさを感じることも多々ありました。大変な我儘をお聞き届けいただき、平成25年10月から名誉院長兼甲状腺・内分泌センター長という立場をいただき、もう一度アクセル全開で、臨床の現場で甲状腺・内分泌疾患に悩める患者さまお一人お一人と真摯に向き合える立ち位置をいただきましたことに心から感謝申し上げます。

総合上飯田第一病院 名誉院長兼甲状腺・内分泌センター長 **加藤 万事**

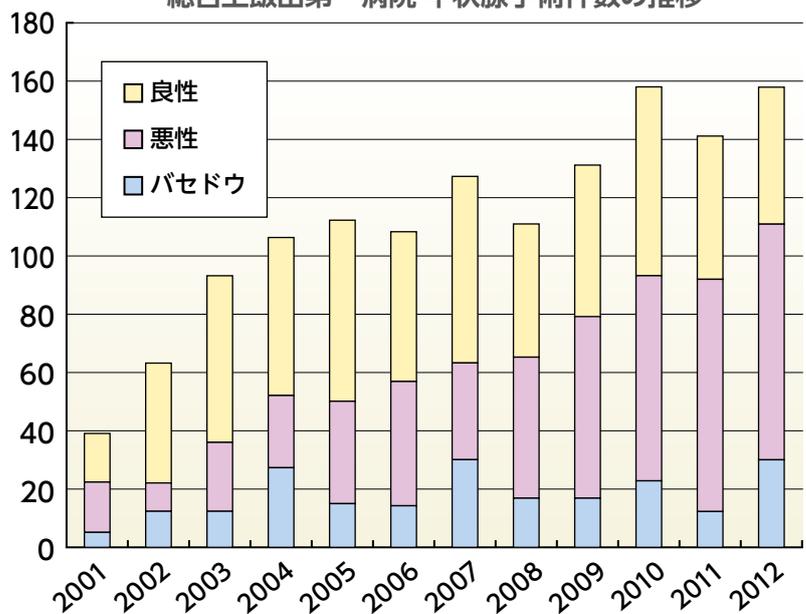


甲状腺・内分泌センターの存在意義

かつて、この愛知県には全国に名の知られた甲状腺外科医の先達が綺羅星のようにありましたが、諸先輩が一線から身を引かれつつある中、新たにバセドウ手術、頸部悪性腫瘍手術に身を投じてくれる若手人材は限られています。甲状腺手術は、無血野を確保しながら、頸部の重要な神経・血管を一切触ることなく完全に頸部リンパ節を除去しきるスキルが要求され、ある意味職人芸の手並みが必要です。またバセドウ病、原発性上皮小体機能亢進症などでは、ホルモンバランスの乱れに伴う全身的な多種多様な症状をこと細かく患者さま

から見つけ出し、それぞれに対処する部分で、呼吸、循環、電解質、代謝の多岐にわたって、総合的に目を配らなければなりません。また、甲状腺全摘術後のホルモン補充は、その後の患者さまの生涯にわたる健康管理に対する責任も負うことになり、ほとんどの患者さまとのお付き合いは一生にわたるものとなります。その意味で、「専門」と「総合」を兼ね備えた視点をもって、この東海地域での甲状腺疾患の定点観測点として当院の「甲状腺・内分泌センター」の存在意義は重要なものになるかと存じます。

総合上飯田第一病院 甲状腺手術件数の推移



過去12年にわたり当院の甲状腺疾患手術件数は順調に伸びてきていますがこのセンター化に伴い、更なる飛躍を期してまいります。

これからもよろしくお願いたします。

人工関節・関節鏡センター 開設



整形外科疾患は、人口の高齢化とスポーツ活動の普及に伴い、その数も種類もとても多くなり、個々の疾患の治療には、より高度に専門的な知識や技術が必要になりました。

そこで、当院では、従来から積極的に行ってきた関節外科(四肢関節外科)治療を、より高度に専門化させ、安心して患者さまが治療を受けられるようなスタッフと設備を整えることで、人工関節・関節鏡外科の専門治療を行っていくセンターを新設することにいたしました。

特色である人工関節手術と関節鏡視下手術の実際につき説明します。

総合上飯田第一病院 副院長兼人工関節・関節鏡センター長 片岡 祐司

人工関節手術

股関節や膝関節に変形を起こす病気には多くの原因がありますが、そのなかで患者数の最も多い病気が変形性関節症です。日本人の場合、股関節と膝関節では、少し発生原因が違うようです。日本人の女兒は、股関節の臼蓋(くぼみの部分)が浅いことが多く、先天性股関節脱臼や臼蓋形成不全が小児期に見られ、これが中年以降になり関節軟骨の消失が進むと臼蓋と大腿骨頭の適合性が失われ、股関節の変形と破壊が起きて関節症を起こします。

一方、膝関節症は、肥満と老化や下肢筋力低下などの原因により、膝関節機能低下を起こし、膝関節軟骨の変性や消失を起こし発症します。

股関節でも膝関節でも、病状が進めば手術治療の対象となり、骨切り手術や人工関節置換術を行うこととなります。以前は、骨切り手術を行うこともありましたが、治療効果にばらつきがあり、術後骨切り部位の骨癒合に時間がかかり治療期間が長引くため、最近では、安定した治療効果で治療期間も短縮できる人工関節置換術を行うことが多くなってきています。

人工関節置換術の術前2週間より自己血輸血のための貯血を行い、さらに術後にも出血した血液を回収する装置を用いる

ことで、自分の血液のみで他人の血液を使わない安全な自己血輸血手術が可能となっています。

また、手術は、人工関節手術専用のクリーンルームで呼気排出装置をつけたヘッドギアをつけて行い、手術時間は1時間から2時間程度で、麻酔科医による麻酔の下、安全に行われています。



▲クリーンルームでの人工膝関節手術

関節鏡視下手術

膝と肩の外傷や疾患がこの手術の良い適応となります。以前は、大きな皮膚切開を入れないとできなかった手術が、1~2cmの小さな皮切から内視鏡や鉗子類を入れて、モニターで見ながら手術を行うことができるため、術後の早期回復が可能となりました。

膝ではスポーツや交通事故などの外傷で起こる前十字靭帯断裂と半月板損傷の手術が多いです。前十字靭帯断裂はただ縫合しても治らないため、大腿の裏にあるハムストリングス

(腱)を移植する二重束再建術を関節鏡下で行います。半月板断裂がある場合、できる限り切除はせず縫合術を行っています。

また肩では、腱板断裂と習慣性肩関節脱臼の手術を行っています。特に、腱板断裂は外傷だけでなく加齢変化による変性でも起きるため、その数は年々飛躍的に増加しています。この腱板断裂に対して全例を鏡視下手術で行っている病院は、全国でもまだまだ少なく特色あるセンターと考えています。

テーマ

「脳卒中 早期治療とリハビリで脳はよみがえる」

～脳卒中センターを開設して～

第7回

市民公開講座

平成25年10月12日(土)

来場者数 105名

地域の皆さまに病気や医療についての知識を深めていただくため、市民公開講座を年3回開催しております。第7回市民公開講座は、平成25年10月12日(土)に開催いたしました。

今回は、脳の疾患・治療・リハビリについての話でした。脳卒中はすべて早期治療が大切で、回復の度合いやその後の生活に大きく影響します。頭痛や手足の違和感、呂律がまわらないなど、おかしいと思ったら病院にすぐ受診することが大切だと伝えていました。講演終了後、来場者の方の感想は「脳の病気の様子がよくわかりました」と好評を得ました。

*今回の市民公開講座は「公益社団法人 日本脳卒中協会」の後援をいただきました。



症状が出たら
放置せず、すぐ病院へ。
迷ったら病院に電話を!



総合上飯田第一病院
脳神経外科部長
魚住 洋一

脳卒中には脳梗塞と脳出血、くも膜下出血の3種類があります。それぞれ症状が異なりますが、どの疾患も早期治療が大切です。治療を開始する時期によって、治療効果や回復に大きな差があります。また、治療時期を逃すと死に繋がります。くも膜下出血は頭痛と嘔吐が出現し、脳梗塞・脳出血は手足が動かない・話せないなどの症状が出現します。おかしいな?と思ったら病院にすぐ受診し、検査することが大切です。

生活習慣病に注意!



総合上飯田第一病院
神経内科副部長
濱田 健介

脳梗塞になりやすい人は、高血圧や糖尿病など生活習慣病がある人です。脳には痛覚がなく脳梗塞を発生しても痛みはありません。突然呂律がまわらない、手足が動かない・動かしにくいなどの症状が現れます。生活習慣病があると脳梗塞の原因である血栓ができやすく、発症しやすくなります。そのため生活習慣病の治療を行うことが、日々の予防として大切です。

機能回復を最大限に
引き出すには、急性期
からのリハビリが大切



総合上飯田第一病院
理学療法士主任
片上 智江

脳卒中により低下した機能を回復させ、家庭や社会へ復帰する為にはリハビリは欠かせません。リハビリには急性期・回復期・生活期の3つのステージがあります。いずれのステージも大切ですが、急性期リハビリの開始時期や量・内容によってはその後の回復に差が出てきます。リハビリは、急性期(早期)から始めることがとても大切です。

次回予告 第8回 市民公開講座 **無料** 日時 平成26年2月15日(土) 13:30開場 14:00開演 会場 総合上飯田第一病院 南館8階 会議室

テーマ 腎臓について考えよう

「慢性腎臓病について」…………… 講師 総合上飯田第一病院 腎臓内科医師 河合 浩寿
「知っておきたい!腎臓をいたわる食生活」… 講師 総合上飯田第一病院 栄養科主任 山田 恵子

お問い合わせ 総合上飯田第一病院
総合支援センター 地域医療連携室
お申し込み TEL (052) 991-3111

愛生会からのお知らせ 平成26年1月~3月

糖尿病教室

日時 毎月第1金曜日 10:30~13:30
場所 総合上飯田第一病院 南館8階 会議室
講師 医師・管理栄養士・理学療法士
お問い合わせ・お申し込み
総合上飯田第一病院 内科外来
TEL (052) 991-3111

糖尿病バイキング教室

日時 不定期(年4回)
場所 総合上飯田第一病院 南館8階 会議室
講師 医師・管理栄養士
お問い合わせ・お申し込み
総合上飯田第一病院 内科外来
TEL (052) 991-3111

母乳教室

日時 毎月第1土曜日 10:00~11:30
場所 総合上飯田第一病院 南館8階 会議室
講師 助産師
お問い合わせ・お申し込み
総合上飯田第一病院 産婦人科外来
TEL (052) 991-3111

マタニティヨーガ教室

日時 毎週火曜日 14:00~16:00
場所 総合上飯田第一病院 南館8階 会議室
講師 助産師 (費用 300円)
お問い合わせ・お申し込み
総合上飯田第一病院 産婦人科外来
TEL (052) 991-3111

母親教室

日時 毎月第1・第3水曜日 13:30~15:30
場所 総合上飯田第一病院 南館8階 会議室
講師 助産師
お問い合わせ・お申し込み
総合上飯田第一病院 産婦人科外来
TEL (052) 991-3111

ファミリークラス

日時 毎月第1土曜日 13:30~15:30
場所 総合上飯田第一病院 南館8階 会議室
講師 助産師
お問い合わせ・お申し込み
総合上飯田第一病院 産婦人科外来
TEL (052) 991-3111

安産教室

日時 毎週金曜日 15:00~16:00
場所 総合上飯田第一病院 北館2階 産婦人科外来
講師 助産師
お問い合わせ・お申し込み
総合上飯田第一病院 産婦人科外来
TEL (052) 991-3111

介護教室

日時 平成26年1月11日(土)・2月8日(土) 14:00~15:00
場所 上飯田リハビリテーション病院 1階会議室
講師 介護士・理学療法士・作業療法士など
お問い合わせ・お申し込み
上飯田リハビリテーション病院
TEL (052) 916-3681

看護師・助産師 募集中

看護学生、現職の看護師・助産師の方、病院見学随時受付中です。

お問い合わせは愛生会本部 TEL (052) 914-7071 詳しくはホームページをご覧ください。http://www.kamiida-hp.jp

大須診療所

診療科目 **内科・外科**
(甲状腺疾患専門外来)



院長 榎 秀三平

開業の経緯

大須診療所は、東京の甲状腺疾患専門病院である伊藤病院の連携施設として東海地区の患者さまへ専門診療を提供することを念頭に平成16年6月に開業いたしました。



診療の傾向

開院当初から、予約制や甲状腺ホルモンの迅速検査・エコー検査を行ってきました。そして、平成23年7月より医療施設でも数少ないアイソトープ設備を備えたことにより、他の医療施設からもパセドウ病の治療や甲状腺癌術後の検査・治療への依頼が多数あります。

たとえば、難治性のパセドウ病の場合は、放射性ヨウ素の入ったカプセルを服用し、甲状腺ホルモンの生産を抑える治療を行います。また、外来アブレーション(肺などに遠隔転移がない事が条件となります)では、甲状腺全摘後に細胞レベルで残存する甲状腺細胞を放射性ヨウ素の入ったカプセルを服用して内照射を実施しています。

総合上飯田第一病院へ

大須診療所は甲状腺専門施設として総合上飯田第一病院と連携をはかりながら総合的な治療を行っています。これからも、ますます総合上飯田第一病院との連携を深め、皆さまにも安心を届けられるように誠意努力して参ります。よろしくお願い申し上げます。



〒460-0011 愛知県名古屋市中区大須4丁目14-59
TEL(052)252-7305 FAX(052)252-7308
www.osu-shinryoujyo.jp/
診療時間/午前10:00~午後1:00
午後 3:00~午後6:00
休診日/日曜日、祝祭日、
年末年始(12月30日~1月4日)



みずのリハビリクリニック

診療科目 **リハビリテーション科**



院長 水野 雅康

開業の経緯

当院は、平成18年5月、私の地元であります北区上飯田に開院いたしました。それまで私は、日本リハビリテーション(以下、リハ)医学会専門医として、大学病院と地域の中核病院などにおいて最先端のリハ医療の実践・教育・研究・普及などに取り組んで来ました。当院の開院により、それまでの貴重な経験を生かし、16名の理学・作業療法士などと共に地域の皆さまに親しまれ、信頼されるクリニックを目指し、職員一同努力しています。



診療の傾向

当院ではいろいろな病気を診療しますが、特に「活動の制限」を起こす病気はほとんどが対象になります(骨・関節疾患、脳卒中、背髄損傷、神経・筋疾患など)。また、肩こり、腰痛、膝痛などでお困りの方々もお気軽にご相談ください。



総合上飯田第一病院へ

当院では、総合上飯田第一病院、上飯田リハビリテーション病院との緊密な連携により、急性期→回復期→維持期の途切れない一貫したリハ医療を提供させていただきますので、よろしくお願い致します。

〒462-0804 名古屋市北区上飯田南町3-92-2
TEL(052)917-8008 FAX(052)917-8885
http://mizunorehacl.com
診療時間/午前9:00~午後1:00
午後1:30~午後4:30
土曜日午前は、院長が往診のため、代務医師による診療になります。
休診日/土曜午後・日曜日・祝日





総合上飯田第一病院 外来担当医表

TEL(052)991-3111

外来担当医表は、平成25年12月現在で作成されております。担当医師が変更となっている場合もございますので、お問い合わせください。

診療科		月	火	水	木	金	土
一般内科	午前	☆交代制	櫻井徳千 ☆交代制	☆交代制	☆交代制	脇田 彬 ☆交代制	☆交代制
循環器内科	午前	林田 竜	岡本理絵	多湖三重	山下 健太郎	岡本理絵	
	午後			竹下享典			
消化器内科	午前	城 浩介 小田切 英樹 杉田裕輔	小栗彰彦 村居 譲	城 浩介 齋藤雅之	村居 譲 小田切 英樹	小栗彰彦	☆交代制
呼吸器内科	午前		伊藤亮太		佐々木 智康 横山 裕	近藤千晶	
禁煙外来	午後			城 浩介(完全予約制)			
腎臓内科	午前	河合浩寿				加藤 悠佳理	
	午後				三浦直人		
神経内科	午前	宮崎 雄	鈴木啓介	野田智子	濱田健介	今井和憲	
	午後				千田 譲		
旅行医学	午後		濱田健介				
糖尿病内科	午前		山本 由紀子	二口祥子 三浦 英里子	宮田美咲	山本 由紀子	交代制(不定期)
	午後	二口祥子					
外科	午前	佐々木 英二 山内康平	杉浦友則	佐々木 英二 岡島明子	岡島明子	雄谷純子	交代制
大腸専門	午後				加藤知行	加藤知行	
甲状腺外科	午前		加藤万事		加藤万事		
	午後			加藤万事			
乳腺外科	午前	窪田智行(完全予約制)	雄谷純子(完全予約制)	窪田智行(完全予約制) 山内康平(完全予約制)	雄谷純子(完全予約制)	窪田智行(完全予約制) (受付11:00まで)	
	午後	窪田智行(完全予約制)		窪田智行(完全予約制) 山内康平(完全予約制)			
緩和ケア相談外来	午後			岡島明子(完全予約制)			
血管外科	午後					城所 仁(完全予約制)	
整形外科	午前	☆土谷早穂 ☆小林和克 (不定期) 加藤大三 ☆浅井秀司	☆丸山聖子 酒井忠博 (9:30~) ☆中島基成 国立真以	良田洋昇 佐藤晋介 新城龍一 ☆国立真以	片岡祐司 ☆二村尚久 筑紫 聡 土谷早穂 (9:30~)	良田洋昇 佐藤晋介 ☆濱田 恭 丸山聖子	☆交代制 ☆交代制(脊椎)
	午後	今釜史郎(完全予約制) (<small>脊</small> 椎)(受付14:00まで)	片岡祐司(完全予約制) (人工関節・膝関節専門外来)		土谷早穂(完全予約制) (<small>膝</small> ・ <small>肩</small> 専門外来)		
スポーツ外来	午後				良田洋昇(第1,3週) (<small>関節</small> ・ <small>スポーツ</small> 外来)	大島祐之(第2,4週)	
皮膚科	午前		田中るい	竹尾友宏		岡地 奈津子	交代制
泌尿器科	午前	新美和寛(受付11:00まで) 郡 健二郎(月1回)	新美和寛	戸澤啓一	林 祐太郎	新美和寛	交代制
	午後			恵谷俊紀(完全予約制)			
脳神経外科	午前	水野正明	魚住洋一	岡本 奨	魚住洋一	荒木芳生	交代制
脳神経外科・てんかん外来	午前					木田義久(完全予約制)	
ペインクリニック外科	午前		山田 満			坪井 博	
小児科	午前	☆後藤泰浩	☆多田英倫	後藤泰浩 ☆金 成愛	☆後藤泰浩 坂本龍雄(アレルギー)	☆早川昌弘	後藤泰浩(ワクチン)
	午後	後藤泰浩		後藤泰浩 早川 知恵美(小児発達相談)	後藤泰浩 坂本龍雄(アレルギー)	後藤泰浩	
産婦人科	午前	高橋千晶	後藤真紀	徳橋弥人 高橋千晶	眞鍋 てるみ	徳橋弥人 熊澤詔子	交代制
	午後	高橋千晶(完全予約制)					
耳鼻いんこう科	午前	久野 佳也夫	久野 佳也夫	☆交代制(10:00~11:00)	久野 佳也夫	久野 佳也夫	☆交代制
めまい外来・音声外来	午前	久野 佳也夫	久野 佳也夫		久野 佳也夫	久野 佳也夫	
物忘れ評価外来	午前	鶴飼克行(完全予約制)		鶴飼克行(完全予約制)			
	午後	鶴飼克行(完全予約制・初診のみ)		鶴飼克行(完全予約制・初診のみ)			
眼科	午前	長島弘明 江崎雄也 ☆青柳 和加子	古川 真理子 長島弘明 江崎雄也 澤 味歩	澤 味歩 大橋文隆 ☆交代制	古川 真理子 長島弘明 江崎雄也 ☆青柳 和加子 青山 裕美子 大橋文隆 (第1週)	古川 真理子 長島弘明 江崎雄也 ☆非常勤	※紹介患者 救急患者のみ

※受付時間・診察開始時間、外来担当医の変更や休診などはホームページでご確認ください。http://www.kamiida-hp.jp
※当院は予約診察を行っております。(予約診察以外の医師には、☆印が付いております)

急患の方は24時間、随時受付いたします。



医療法人 愛生会 総合上飯田第一病院

●診療体制 内視鏡センター/腎センター
甲狀腺・内分泌センター/乳腺センター
人工関節・関節鏡センター/脳卒中センター
健診センター(人間ドック・各種健康診断)

〒462-0802 名古屋市中区上飯田北町2丁目70番地
TEL(052)991-3111 FAX(052)981-6879
ホームページ http://www.kamiida-hp.jp
E-mail: infor@kamiida-hp.jp

医療法人 愛生会 上飯田クリニック

●人工血液透析
〒462-0802
名古屋市中区上飯田北町1丁目76番地
TEL(052)914-3387 FAX(052)911-4866

愛生訪問看護ステーション

〒462-0808
名古屋市中区上飯田通2丁目37番地CKビル1階
TEL(052)991-3210 FAX(052)991-3579
ホームページ http://www.aiseikai-hc.or.jp/vn-st

愛生居宅介護支援事業所

〒462-0808
名古屋市中区上飯田通2丁目37番地CKビル1階
TEL(052)991-3546 FAX(052)991-3539

愛生会看護専門学校

〒462-0011
名古屋市中区五反田町110番地の1
TEL(052)901-5101 FAX(052)901-5101
ホームページ http://www.ngy.1st.ne.jp/ai-kango
E-mail: ai-kango@ngy.1st.ne.jp

愛生会本部

〒462-0808
名古屋市中区上飯田通2丁目37番地
TEL(052)914-7071 FAX(052)991-3543
ホームページ http://www.aiseikai-hc.or.jp
E-mail: aiseikai@kamiida-hp.jp



医療法人 愛生会 上飯田リハビリテーション病院

●回復期リハビリテーション病棟 ●通所リハビリテーション

〒462-0802 名古屋市中区上飯田北町3丁目57番地
TEL(052)916-3681 FAX(052)991-3112
ホームページ http://www.kami2-hp.jp

あいせいデイサービスセンター

〒462-0861
名古屋市中区辻本通2丁目38番地
TEL(052)991-3548 FAX(052)991-3600

2014年新年号 VOL.69 発行/医療法人 愛生会 発行日/2014年1月1日 パンフletナーは総合上飯田第一病院ホームページでもご覧いただけます。 本誌に関するお問い合わせ